



交付運用報告書

リアル・アセット債券ファンド

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

<愛称> リアル・インカム

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2021年3月17日～2022年3月16日

第4期 決算日：2022年3月16日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、リアル・アセット企業の発行する債券等を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末 2022.3.16

円ヘッジありコース 円ヘッジなしコース

基準価額	10,826円	11,772円
純資産総額	554百万円	610百万円
騰落率※	△4.2%	0.5%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

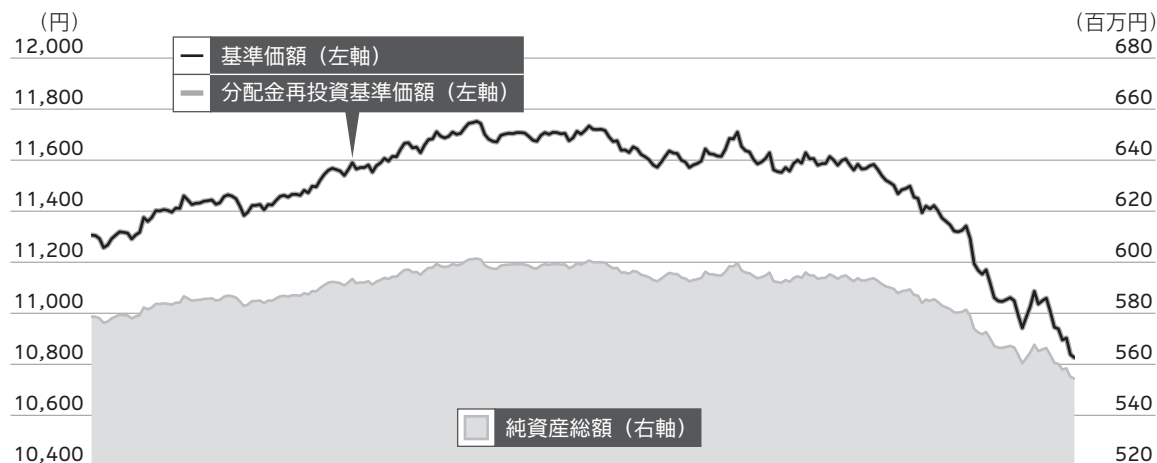


0120-69-5432

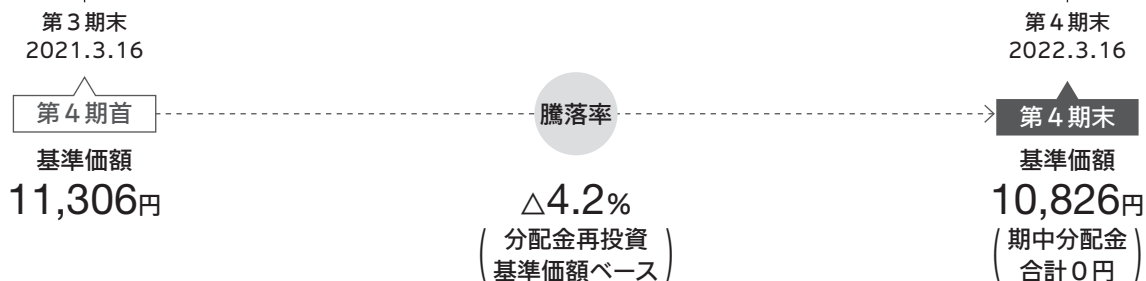
運用経過

● 基準価額の推移

☼ 円ヘッジありコース



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2021年3月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

当期、基準価額の騰落率はマイナスとなりました。投資しているリアル・アセット債券マザーファンドについては、為替市場で米ドルが対円で上昇したことなどがプラス寄与し、基準価額は上昇しましたが、当ファンドでは為替ヘッジを行っており、為替変動による影響は限定的となったことから、基準価額は下落しました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は+1.8%となりました。

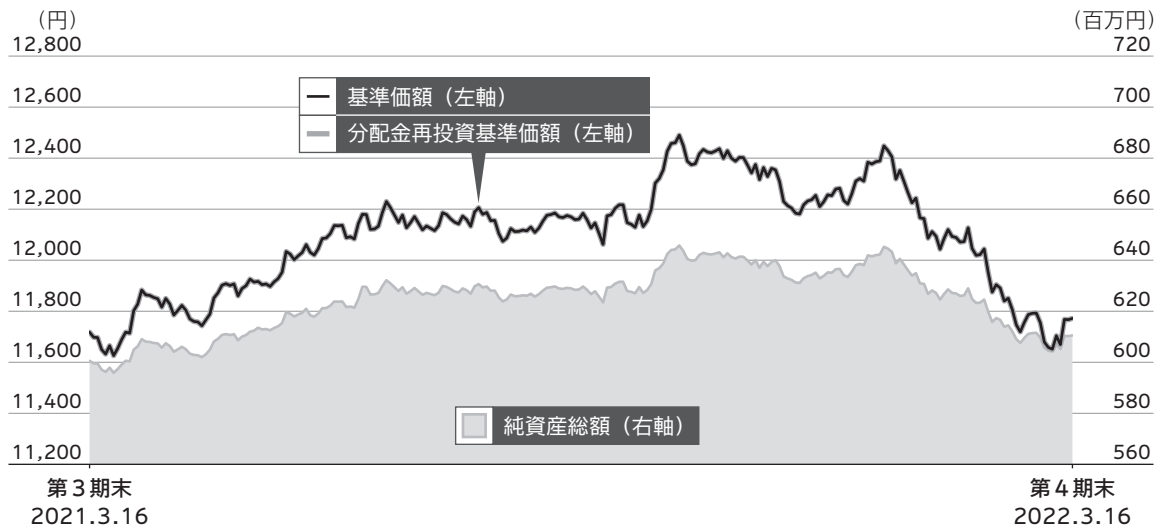
投資するリアル・アセット債券の債券価格が下落した一方、為替市場で米ドルが対円で上昇したことなどがプラス寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

円ヘッジなしコース



第4期首

基準価額

11,718円

騰落率

0.5%

(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第4期末

基準価額

11,772円

(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2021年3月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

当期、基準価額の騰落率はプラスとなりました。投資しているリアル・アセット債券マザーファンドでは、為替市場で米ドルが対円で上昇したことなどがプラス寄与し、基準価額は上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は+1.8%となりました。

投資するリアル・アセット債券の債券価格が下落した一方、為替市場で米ドルが対円で上昇したことなどがプラス寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

円ヘッジありコース

項目	第4期 2021.3.17~2022.3.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	143円	1.243%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,491円です。
(投信会社)	(76)	(0.660)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(63)	(0.550)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.057	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(5)	(0.040)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	151	1.309	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

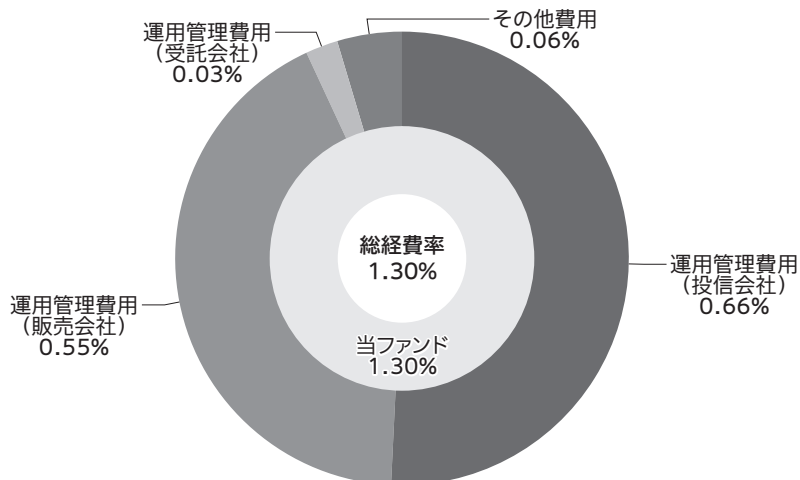
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.30%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジなしコース

項目	第4期 2021.3.17~2022.3.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	150円	1.243%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,101円です。
(投信会社)	(80)	(0.660)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(67)	(0.550)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.006)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.057	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(5)	(0.040)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	158	1.309	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

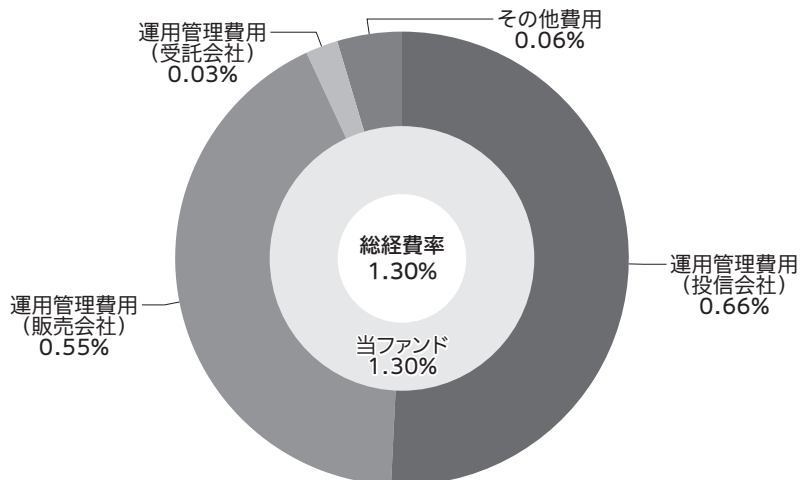
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.30%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2017.3.16～2022.3.16



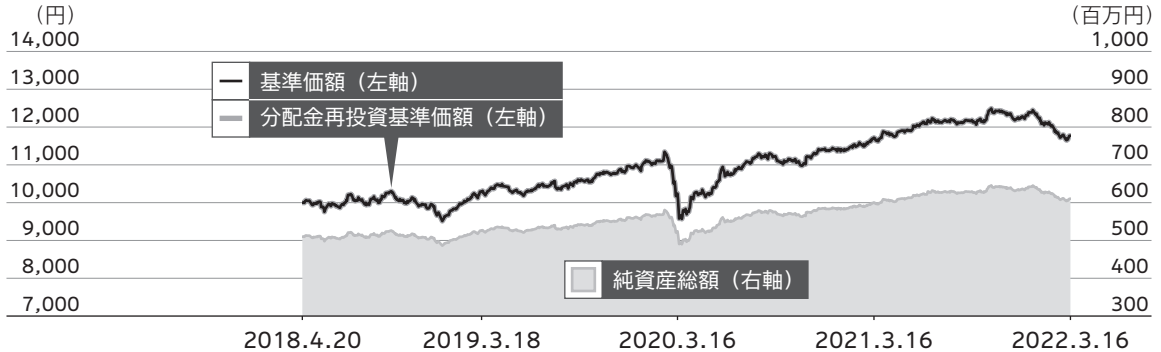
円ヘッジありコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.4.20 設定時	2019.3.18 決算日	2020.3.16 決算日	2021.3.16 決算日	2022.3.16 決算日
基準価額	(円) 10,000	10,119	10,465	11,306	10,826
期中分配金合計（税引前）	(円) —	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%) —	1.2	3.4	8.0	△ 4.2
純資産総額	(百万円) 510	516	535	578	554

2017.3.16~2022.3.16

 円ヘッジなしコース


- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.4.20 設定時	2019.3.18 決算日	2020.3.16 決算日	2021.3.16 決算日	2022.3.16 決算日
基準価額	(円) 10,000	10,294	10,240	11,718	11,772
期中分配金合計（税引前）	(円) —	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%) —	2.9	△ 0.5	14.4	0.5
純資産総額	(百万円) 510	526	524	600	610

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○リアル・アセット債券市場

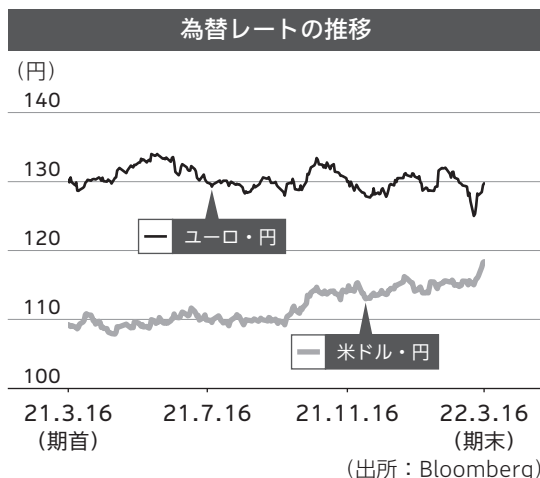
当期のリアル・アセット債券市場は下落しました。

期前半は、軟調な米国経済指標などを受けてFRB（米連邦準備理事会）による金融緩和政策が長期化するとの見方が広がったことや、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大を受けて景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどを背景に米国国債利回りが低下（価格は上昇）基調で推移する中、リアル・アセット債券市場は上昇基調で推移しました。期後半に入ると、パウエルFRB議長が量的金融緩和政策の縮小開始を示唆したことや、米国のインフレ期待の高まりなどを受けてFRBによる早期の金融政策正常化観測が高まったことから、米国国債利回りは上昇（価格は下落）に転じました。2022年の年明け以降は、引き続き米国国債利回りが上昇基調で推移する中、リアル・アセット債券市場のクレジットスプレッドは拡大基調となり、リアル・アセット債券市場は下落する展開となりました。2月には、ロシアによるウクライナ侵攻に対する警戒感を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まる中、クレジットスプレッドはさらに拡大し、リアル・アセット債券市場は期末にかけて下落基調となりました。

○為替市場

米ドルは、円に対して上昇しました。一方、ユーロは、期末にかけて乱高下し、前期末比では対円で概ね横ばいとなりました。

米ドルは、期前半は、FRBの金融政策正常化を巡る思惑などを背景に対円でボックス圏での推移が続きましたが、期後半に入ると、パウエルFRB議長が量的金融緩和政策の縮小開始を示唆したことなどをを受けて早期の金融政策正常化観測が高まったことから、対円で上昇する展開が続きました。ユーロは、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて期末にかけて乱高下する中、前期末比では対円で概ね横ばいとなりました。



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

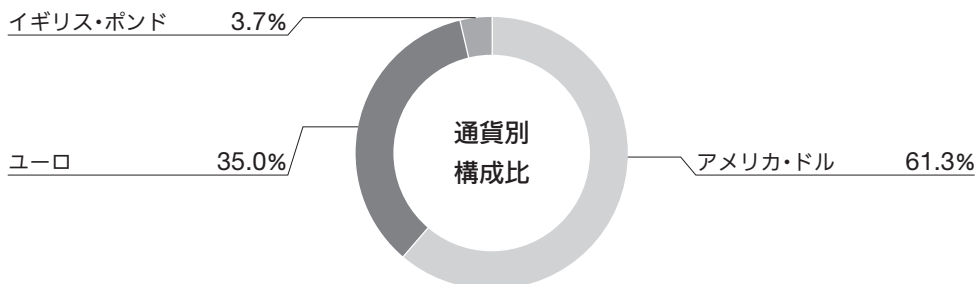
● 当該投資信託のポートフォリオ

📊 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通してリアル・アセット債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、為替変動リスクを回避する目的から、対円で為替ヘッジを行っています。

🏠 リアル・アセット債券マザーファンド

期を通してリアル・アセット企業の発行する債券などの組入比率を高位に維持しました。



注1. 比率は、第4期末における組入有価証券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%と異なる場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📊 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第4期 2021.3.17~2022.3.16
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,562

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第4期 2021.3.17~2022.3.16
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,001

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

今後の運用におきましても、リアル・アセット債券マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界のリアル・アセット企業の発行する債券等を主要投資対象とし、信託財産の中期的成長を目指します。為替変動リスクを回避する目的から、対円で為替ヘッジを行います。



円ヘッジなしコース

今後の運用におきましても、リアル・アセット債券マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界のリアル・アセット企業の発行する債券等を主要投資対象とし、信託財産の中期的成長を目指します。

リアル・アセット債券マザーファンド

当ファンドは日本を含む世界のリアル・アセット企業の発行する債券等を主要投資対象とし、信託財産の中期的成長を目指します。

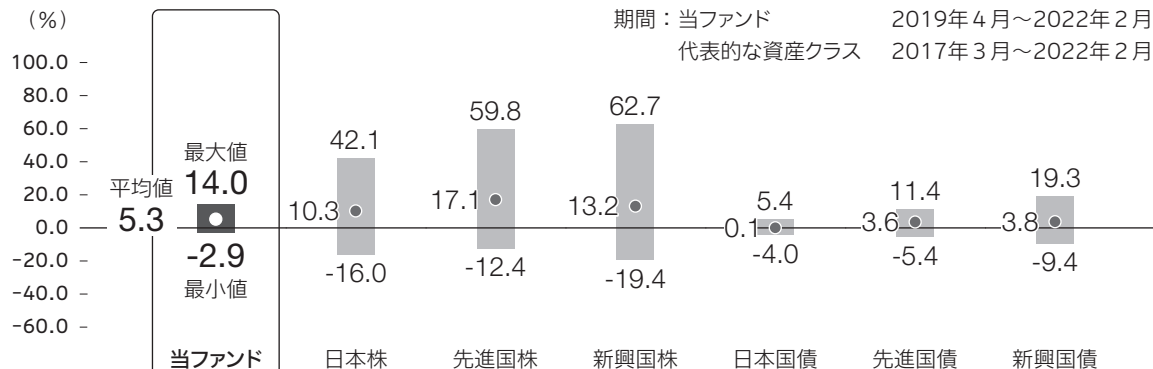
● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年4月20日から2023年3月15日まで
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	 リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース リアル・アセット債券マザーファンド受益証券  リアル・アセット債券マザーファンド 世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等
運用方法	①主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業（長期にわたり、継続して安定したキャッシュフローを生成する資産を、保有している企業）の発行する債券等（期限付劣後債、永久劣後債、優先証券等を含む）に分散投資を行います。 ② マザーファンドにおける、債券等の運用指図に関する権限を、コーヘン&ステイアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。 ③ 「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

円ヘッジありコース

当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

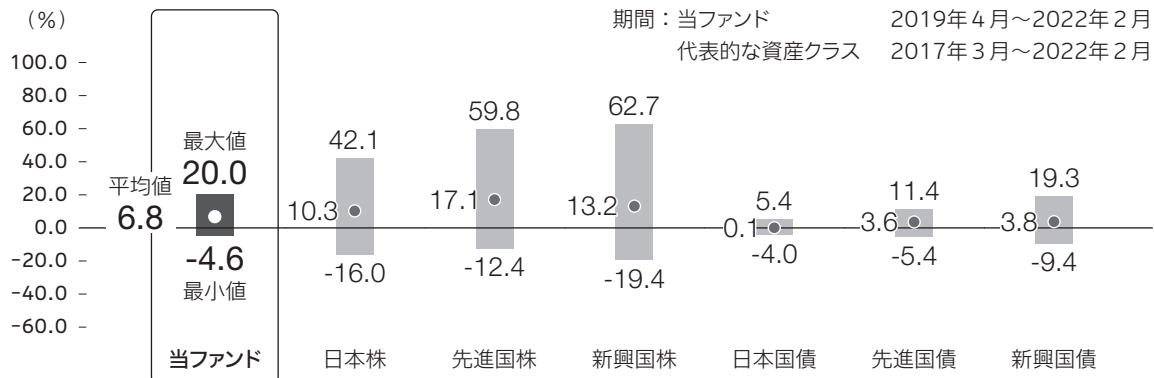
※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は23～24ページをご参照ください。

円ヘッジなしコース

当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は23～24ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

円ヘッジありコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

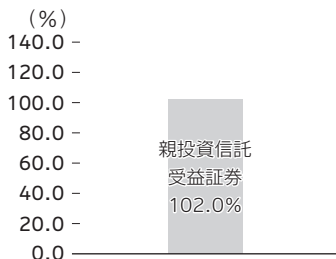
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

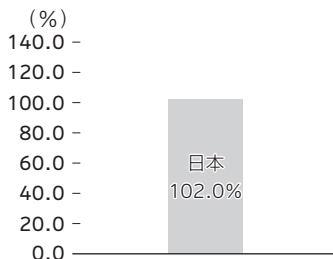
	第4期末 2022.3.16
リアル・アセット債券マザーファンド	102.0%

注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

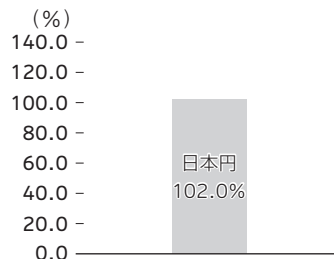
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第4期末 2022.3.16
純資産総額	554,413,274円
受益権総口数	512,109,567口
1万口当たり基準価額	10,826円

※ 当期中における追加設定元本額は1,651,265円、同解約元本額は1,393,585円です。

円ヘッジなしコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

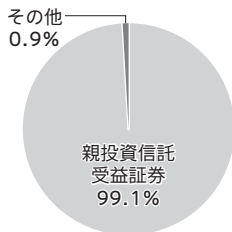
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第4期末 2022.3.16
リアル・アセット債券マザーファンド	99.1%

注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第4期末 2022.3.16
純資産総額	610,525,719円
受益権総口数	518,612,037口
1万口当たり基準価額	11,772円

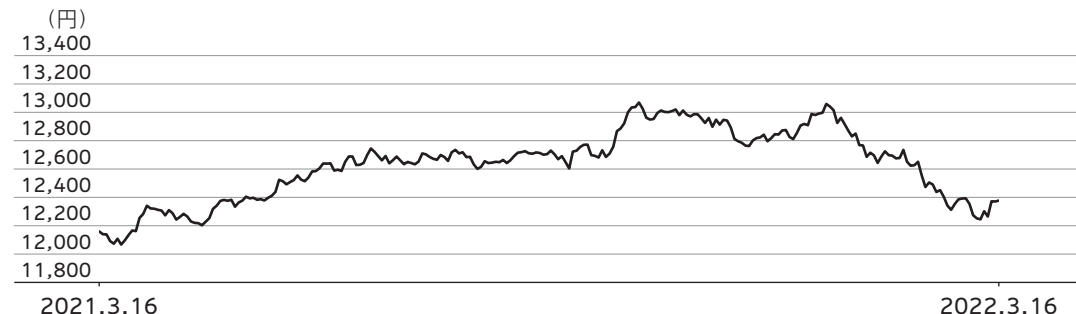
※ 当期中における追加設定元本額は7,512,936円、同解約元本額は1,442,213円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

リアル・アセット債券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

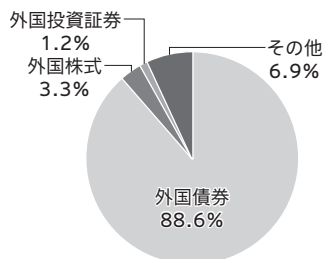
項目	2021.3.17~2022.3.16	
	金額	比率
売買委託手数料	1円	0.009%
(株式)	(1)	(0.007)
(投資信託証券)	(0)	(0.002)
有価証券取引税	0	0.000
(株式)	(0)	(0.000)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
その他費用	5	0.042
(保管費用)	(5)	(0.040)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	6	0.051

期中の平均基準価額は12,643円です。

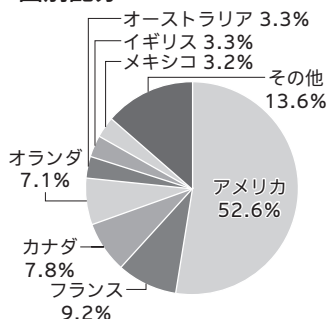
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 WPC 1.35 280115	社債券	ユーロ	オランダ	2.6%	
2 BP CAPITAL FRN 290322	社債券	ユーロ	イギリス	2.2%	
3 VERIZON COM 1.375 281102	社債券	ユーロ	アメリカ	2.2%	
4 AMERICA MOV 6.375 230906	社債券	ユーロ	メキシコ	2.1%	
5 TRANSCANADA 5.5 290915	社債券	アメリカ・ドル	カナダ	2.0%	
6 ORSTED A/S 6.25 230626	社債券	ユーロ	デンマーク	2.0%	
7 SCENTRE GRO 5.125 300624	社債券	アメリカ・ドル	オーストラリア	2.0%	
8 ENERGY TRANS 4.9 231101	社債券	アメリカ・ドル	アメリカ	1.8%	
9 EAST OHIO GAS 2.0 300315	社債券	アメリカ・ドル	アメリカ	1.8%	
10 TOTAL SA 3.369 261006	社債券	ユーロ	フランス	1.8%	
組入銘柄数		99銘柄			

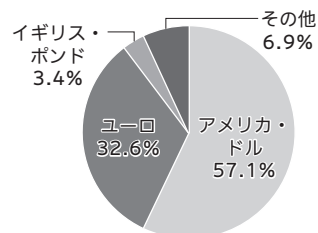
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年3月16日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

リアル・アセット債券ファンド コース

検索

それぞれのコースをご入力下さい。

円ヘッジあり

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0984/price.html>

円ヘッジなし

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0985/price.html>

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。